

ふるさと 資料紹介

＝(80)＝

史料と地名からみた

地区の歴史35

下米田(五)

下米田町山本に古くからある諏訪神社は、『延喜式』や『美濃国神名帳』に出てくる中山神社とされています。祭神は諏訪大明神で、この神社には肥田長寿丸(肥田玄蕃の一族か?)が、永禄一二(一五六九)年に再建したという棟札が残されています。

この諏訪神社では、毎年四月の第一土・日曜日になると、二台の山車が出ることで有名な祭礼がとり行われます。この山車上で奏でられる「祭りばやし」は、市の無形民俗文化財となっています。

長らく続きました「史料と地名からみた地区の歴史」は、今回が最後となります。次回からは、新しいシリーズが始まる予定です。



▲諏訪神社のだんじり

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

(平成十年一月分)

○小田原提灯など七点

(坂井美治さん/蜂屋町)

○ラジオ一点

(森田茂一さん/加茂野町)

○検尺機(生系のハカリ)一点

(桂川明夫さん/川合町)

○リンダメ(ハカリ)一点

(山口繁政さん/本郷町)

○鉄カブトなど十七点

(舟橋三郎さん/下米田町)

○縁起飾り

(林復明さん/太田本町)

博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課(文化会館内/圃内四〇八)まで情報をお寄せください。